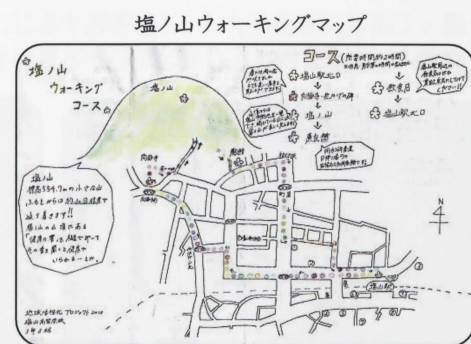


地域活性化プロジェクト2018 ～3年3組 探究活動～

本校では、「地域活性化」をテーマに探究活動をすすめて5年が経ちました。本年度も自分たちの興味関心のもと、それぞれにテーマを設定し課題を見出し、インタビューやアンケート調査など行い解決策を模索し、このプロジェクトを完成させました。

「子どもの外遊び」に注目したチームは、調査結果から自然とふれあう子どもたちが減少していることを知り、五感を刺激し感性を育む遊びの提案とパンフレットの配付をしたり、「認知症」をテーマにしたチームは、認知症の理解を深めてもらうためのパンフレットの作成と配付を行いました。また、地域の観光や産業の発展のために、「塩ノ山ウォーキングマップ」や甲州ワインによる乾杯の推進・ワインの日の啓蒙活動としてポスターの作成など、それぞれが地域の課題に取り組みました。

この活動は、甲州市役所において発表の機会をいただき、報告いたしました。今後も甲州市唯一の高校として、地域に貢献できるような活動を行っていききたいと思います。



～認知症について理解を深めよう～



塩山高校「地域活性化プロジェクト2018」



HEAD TOPICS 3

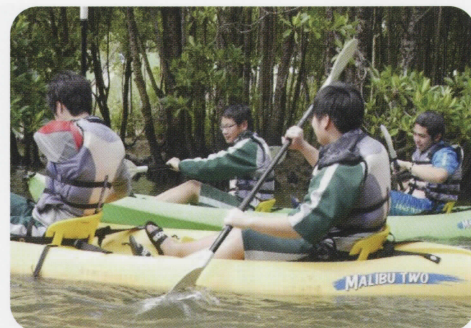
仲間との絆を深めた沖縄への旅。

修学旅行委員長 2年／望月義将

3泊4日の修学旅行は、平和の大切さと沖縄の自然と文化の素晴らしさを感じる機会となりました。

沖縄は第2次世界大戦で、地上戦がおこった場所であり、その爪痕を残す壕を見学したりお話を伺ったりして、今ある平和に感謝すべきだと強く思いました。その一方で、仲間との交流もでき充実した4日間を過ごすことができました。また、沖縄でしか味わうことのできない料理も多々あり、どれも美味しく、またいつの日か訪れたいと感じました。

そして、沖縄の自然の豊かさに心も体も癒やされました。この4日間で学んだことを今後の生活に生かしていきたいと思います。



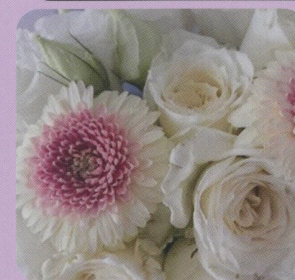
校訓
和敬 叡智 創造



EZ times 第12号
発行：山梨県立塩山高等学校
〒404-0047 甲州市塩山三日市場440-1
☎ 0553-33-2542
発行日：平成31年3月



普通科と商業科を併設した総合制高校である塩山高校で、『ここが未来の起点』を目標にひたむきに頑張っている生徒たちの姿を皆さんに知ってもらいたい。そんな思いのこもった学校通信です。ぜひご覧ください。



HEAD LINE 1

高校生の『声』を届けたい

「高校生議会」に参加して

3年／三枝あゆみ

私は夏休みに開催された「高校生議会」に参加しました。この議会は、山梨県全ての高校の代表が集まり、山梨の福祉や教育、観光など様々な分野について、県知事をはじめとする県の職員の方々に日頃感じている疑問等を質問し、ご答弁いただきました。

本校は生徒数が年々減少し、本年度で廃部が決まった部活動が複数あることから、部活動について質問しました。このことに対して教育委員長より、「生徒が活動する機会を増やすと同時に、教員の労働環境についても検討する」というご回答がありました。

他にも、学校のエアコンやトイレの設置など学校環境についての質問が数多くあり、これらについて「生徒が過ごしやすい環境づくりのために視察を重ね、順を追って改善していきたい」ということもお伺いすることができました。

このような場合は、私たち学生の意見が今後の山梨に反映されるきっかけになると感じましたので、進学後もこのような活動に積極的に参加をしていきたいと思っています。



男女共同参画フォーラムにパネリストとして参加して

2年／廣瀬 拓也

2月2日、甲州市民文化会館で、第12回 甲州市男女共同参画フォーラムが開催され、私は、シンポジウム「男性の介護から見る男女共同参画」のパネリストを務めました。

私の家には車椅子で生活する92歳の祖母がいます。シンポジウムでは、両親が協力して祖母の介護をしていることと、私も自分にできることとして、できるだけ祖母と毎日話をしたいということを話しました。当日は緊張しましたが、他のパネリストやコーディネーターの方が優しく接してくれたので、落ち着いて臨むことができました。また、会場から、孫が話しかけてくれると元気が出るという感想が出たり、若い人のエネルギーが、高齢者の生きる力になると言われたりして、とても嬉しかったです。他のパネリストの方の、介護体験や市の支援態勢などの話もとてもためになりました。よい体験ができたと思っています。



EZ TOPICS 1

高校生の目を通して地域を考えよう

～高校生と大人の本音の語らいの場～

社会教育委員さんと語る会を通して考えること

3年 齊藤京躍

12月6日に、甲州市社会教育委員の方と私たち商業科の3年生で、「地域の未来について語る会」を行いました。この会の目的は、「魅力的なまちづくり」のアイデアを様々な角度から出し合い、地域について理解を深めるとともに、異世代交流の場を持つということです。

グループごとテーマを設定し、話し合いをすすめました。私たちのグループでは、「甲州市に在住している高齢者の今後の生活や、それをどのように活性化させるのか」について話し合い、様々なアイデアや意見を出し合いました。「若者と高齢者が、一緒にゲートボールやグランドゴルフをして交流を深める」「まずは笑顔であいさつから始め、顔見知りになる。」「コミュニケーションを取り合って、詐欺にあわないようにする」などの意見がありましたが、どの意見にも共通するのはコミュニティの場とコミュニケーションの必要性だと再認識することができました。

私の曾祖父母は認知症を患っていますが、今、高齢者の認知症の発症は珍しくはありません。このような高齢者には、まわりの人の支援が必要です。私たちにもできることはあると思いますので、日頃から地域の方々とふれあい、積極的にコミュニケーションをとっていききたいと思います。

今回、このような語る会という機会と、私たちとまるで孫のように優しくお話しくださった社会教育委員の方々に感謝するとともに、これからもっと高齢者の方々とお話しし、互いに優しく楽しく社会生活を営んでいきたいと思っています。



社会教育委員さんと



ワークショップを行い...



発表会



そしてアドバイスを頂き...

のど自慢大会再現！ ～吹奏楽部定期演奏会～

3月9日(土)に甲州市民文化会館にて、吹奏楽部の定期演奏会を実施しました。昨年9月に同会場で開催されたNHK のど自慢に出演された方のうち13組の方々にご出演いただき、大盛況となりました。吹奏楽部はこれで3年生が引退し、少ない人数となりますが、ますます頑張って活動していきます。

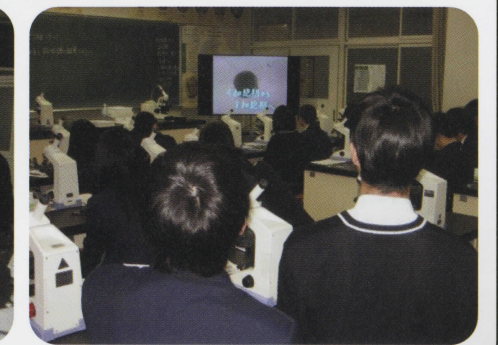


EZ TOPICS 2

生命の神秘を探る～理数教育事業～

海からの贈り物(ウニ)～生命のスタートを顕微鏡で観察してみよう

お茶の水女子大学の海洋教育促進プログラム「教室に海をプロジェクト」より実験材料のウニを提供していただき、そのウニを使って生命の発生の過程を顕微鏡で観察する実験を行いました。参加した3年生の英数コースの生徒は、卵子と精子の大きさの違い、未受精卵、受精膜の上がってくる様子、2細胞期、4細胞期と卵割していく様子を熱心に顕微鏡で観察していました。また、多くの生徒は自分のスマートフォンでウニの成長する様子を動画撮影するなど、この実験をとおして生命の誕生や命の大切さを学ぶことができていました。そして、前日から時間差で受精させておいた原腸胚中期からプリズム幼生も観察し、受精卵にも個体差があり、発生が止まってしまうものや速度が少しずつ違って成長にも差が出ることを確認することができました。ウニの発生をとおして生命の神秘を実感すると共に科学への意識や関心が持てたのではないかと思います。



EZ COLUMN

気遣う心の積み重ね ～心の教育～

やまなしおもてなし講演会 ～心を育てる～

昨年、生徒に大変好評だった「やまなしおもてなしアドバイザー」の上田比呂志先生を、本年度も講師にお招きし講演会を行いました。「おもてなし」とは大切な人をお迎えするときの気持ちであり、争いをなくすものであること、周囲を見渡し相手を気遣う心の積み重ねが大事であることなど、上田先生が老舗料亭の祖母から教えられたことや、フロリダのディズニーユニバーシティで学んだことをディズニーのクイズなども交えながら、楽しくお話いただきました。また、「夢は逃げない。逃げるのは自分だ。」「道は自分自身が作る」など、心に響くお話もあり、受講した生徒は、「周りの人を幸せにすることで、自分自身も幸せになれるのだと思った」「自分の夢に向き合ってみようと思えた」「どうすればよりよい人生を送れるのか学ぶことができた」など、「おもてなし」だけではなく、人生観も学んだ実り多い講演会でした。

